

議会だより

発行：岸和田市議会 編集：「議会だより」編集委員会 TEL 423-9665
(市議会ウェブサイト <https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/>)



高さ7メートルを目指す東葛城小学校の太ひまわり(昨年の様子)

議長に西田議員、副議長に南議員を選出
物価高騰に対する生活支援の補正予算を可決

第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や、各常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。

第2回定例会では、市長から提案された条例の改正や補正予算、人事案件など9件の議案を審議しました。また、一般質問では17人の議員が市の重要課題に対して見解をたしました。

臨時会の概要

会期 5月18日・19日の2日間
本会議1日目(5月18日)

議案説明員の変更、監査結果、専決処分各報告
専決処分の承認を求める議案の上程、採決

本会議2日目(5月19日)

議長・副議長選挙
各常任委員・議会運営委員・庁舎建設特別委員の選任

大阪府都市競艇企業団議会議員・岸和田市貝塚市清掃施設組合議会議員の選挙
議会運営委員会による閉会中の継続調査の申し出

定例会の概要

会期 6月20日～7月1日の12日間
本会議1日目(6月20日)
監査結果、繰越計算書、公園緑化協会の経営状況の各報告
専決処分の承認を求める議案の上程、採決
条例の一部改正や補正予算などの議案の上程、総務・予算常任委員会へ付託
一般質問

議会の役職一覧

◎ 委員長
○ 副委員長

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
議長	西田 武史	◎ 岡林 憲二 ○ 反甫 旭	◎ 河合 馨 ○ 倉田賢一郎	庁舎建設	◎ 河合 馨 ○ 倉田賢一郎
副議長	南 加代子	堂本 啓祐 殿本マリ子	殿本マリ子 反甫 旭	特別委員	殿本マリ子 反甫 旭
総務	◎ 友永 修 ○ 田中 市子	宇野 真悟 友永 修	友永 修 米田 貴志	議会運営委員	友永 修 米田 貴志
常任委員	倉田賢一郎 南 加代子	京西 且哲 松本 妙子	雪本 清浩 中井 良介	◎ 岸田 厚 ○ 倉田賢一郎	◎ 岸田 厚 ○ 倉田賢一郎
	井舎 英生 京西 且哲	稲田 悦治 中井 良介	岸田 厚	殿本マリ子 反甫 旭	殿本マリ子 反甫 旭
	岡林 憲二			河合 馨 米田 貴志	河合 馨 米田 貴志
文教民生	◎ 松本 妙子 ○ 殿本マリ子	◎ 米田 貴志 ○ 今口千代子	◎ 米田 貴志 ○ 今口千代子	都市競艇企業団議会議員	稲田 悦治
常任委員	堂本 啓祐 反甫 旭	倉田賢一郎 田中 市子	倉田賢一郎 田中 市子	岸貝清掃施設組合議会議員	倉田賢一郎 烏野 隆生
	岩崎 雅秋 河合 馨	烏野 隆生 井舎 英生	烏野 隆生 井舎 英生		友永 修 河合 馨
	中井 良介 今口千代子	桑原 佳一 岩崎 雅秋	桑原 佳一 岩崎 雅秋		米田 貴志 鳥居 宏次
事業	◎ 宇野 真悟 ○ 雪本 清浩	河合 馨 雪本 清浩	河合 馨 雪本 清浩		稲田 悦治 今口千代子
常任委員	烏野 隆生 桑原 佳一				
	米田 貴志 鳥居 宏次				
	稲田 悦治 岸田 厚				

本会議2・3日目(6月21・22日) 一般質問
文教民生・事業常任委員会(6月24・27日)
所管事務の調査
総務常任委員会(6月28日)
所管事務の報告
付託議案の審査
庁舎建設特別委員会(6月29日)
所管事務の報告
予算常任委員会(6月30日)
付託議案の審査
本会議最終日(7月1日)
総務・予算常任委員長から付託議案の審査結果報告
議案第40号修正案の上程、採決
公平委員・監査委員の選任
議会委員会条例の一部改正案の上程、採決
議会運営委員会による閉会中の継続調査の申し出

市政に関する

要旨

一般質問

令和4年第2回定例会では、17人の議員が一般質問を行いました(発言順に掲載)。

一般質問の様子は、市議会ウェブサイト上の録画中継のページでご覧いただけます。



URL: <https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/189rokuga.html>

また、8月下旬以降、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧いただけます。

ヤングケアラー支援と産後ケアの充実について

南 加代子
(公明党)

①ヤングケアラー支援については、学校において当事者が相談し、助けを求めることの大切さを周知する必要がある。そのために、相談窓口を記載したカードの配布や、保護者との連携など体制の強化を望む。また、児童に対し切れ目のない支援を行っている子ども家庭総合支援拠点については、市ウェブサイトの掲載内容を工夫し認知度を高めるとともに、関係部局との連携した支援を要望する。



②産後ケアにおいては、必要な支援へつなぐ体制整備が必要であり、助産院を含む施設の増設や訪問型産後ケアの早期導入を望む。訪問時は母子保健、虐待防止の観点から助産師や保健師などの専門職の関わりを要望する。

施政方針と岸和田市まちづくりビジョンについて

井舎 英生
(無所属クラブ)

①市民の新庁舎は活断層と津波から離れ、市民の声を聞いて建てるべき。
②子育て世代が流出中で年間2800人。子育て世代に継続的支援を。
③小学校の統廃合は、地域の意見を尊重すべき。



④民間認定こども園の新設公募に市長の親族の法人が応募し決定されたことは疑問である。

新庁舎も別館も活断層・津波から離れて建てよう



図書館の今後のあり方について

その他の質問 ○広域連携

反甫 旭
(きしわだ未来)

【問】施政方針において、新図書館整備に向けた基本計画を策定するとしている。今後の図書館のあり方については、市民や学生、市内事業者にも参加してもらい検討中とのことであるが、どのような図書館にしていくべきと考えているか。



【答】今後の図書館は、市民の学習意欲や知的好奇心に応えるとともに地域文化や歴史などさまざまな情報を集積し、市民と情報とが交わることで、新たなアイデアや活動が生まれる場でありたいと考える。また、民間商業施設や交流スペースなどを併設した複合施設を民間活力も導入して整備している他市の事例なども参考に、岸和田に合った図書館施設を検討していきたい。

ため池や水路の防災対策について

その他の質問 ○ユニバーサルデザイン書体の活用

宇野 真悟
(大阪維新の会)

【問】農業用利用されているため池や水路の管理・整備については、災害時も含めて水利組合などの受益者により行われているが、災害時の管理全てを受益者に負担させることには限界がある。防災対策については、市全体で責任をもって取り組むべきと考えるがどうか。



【答】ため池や水路に係る防災対策については、岸和田市国土強靱化地域計画に基づき、関係部局が取り組んでいる。さらに、府や泉南地域の各市関係部局で組織されている泉南地域水防防災連絡協議会においては、本市から雨水排水の担当部局などが新たに加わり、流域治水の推進のために連携・協議を行っていく。

幼稚園給食、産業高校の端末配備について

その他の質問 ○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

堂本 啓祐
(大阪維新の会)

①幼稚園給食についての保護者へのアンケート調査の結果、昼食の提供を希望する声が多く、6・7月に計8回、市内3幼稚園の4・5歳児を対象に、デリバリー方式による昼食提供を試行することである。試行後は、その結果を十分に検証し、完全給食実施に向けて取り組むことを要望する。



②府内公立高校で1人1台タブレット端末が配備されていないのは、産業高校だけである。また、新学習指導要領には、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図るよう明記されている。早急な端末配備を要望する。

岸和田競輪場施設整備における第2期計画について

米田 貴志
(公明党)

競輪場の施設整備計画の第1期工事が終了した。第2期工事はBMXコース移設と選手宿舎新築だが、宿舎新築には多額の費用を要するため、競輪非開催日の一般利用を可能とした民設民営の選手宿舎を検討すべきである。併せて宿舎の活用として、競輪場を中心としたサイクルモードライドやツール・ド・ニッポンなどの人気のあるイベントの誘致や、JF B Fとの連携協定締結によるBMXレースの活性化に取り組んでどうか。競輪場施設においては固定観念にとらわれないさまざまな新しい創出について全庁的に取り組み、民間事業者が参画しやすい状況を作り出すべきである。それが交流人口の増加につながると考える。

障害者が自分らしく生活できるまちづくり

田中 市子
(日本共産党)

①障害者の緊急時の受け入れを行う地域生活支援拠点等事業では、未登録者でも受け入れ可能な体制整備や入所施設などの生活の場の拡充を求めた。
②選挙での配慮として、入場整理券の封筒への点字表記、投票所の環境整備や適切な支援を求めた。
③市職員の障害者就労では、環境整備や業務のマッチングで、誰もが力を発揮できる体制整備を求めた。
④移動支援では、現在あるタクシー助成券に加え、自家用車の燃料費を助成する自動車燃料費補助制度の導入を前向きに検討するよう求めた。
⑤障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の理念を踏まえ、障害者や家族の実情を把握した施策の推進を求めた。



本市の人口減少対策について

友永 修
(公明党)

わが国の人口構造の推移は、全ての団塊世代が75歳以上になる2025年以後、高齢者の急増から20歳から60歳までが主な現役世代の急減へと変化する。本市の人口動態では、30歳前後の子育て世代の転出傾向が顕著であり、これに歯止めをかける施策が必要である。また、若者の定住促進につながる奨学金返還支援制度では、国の支援が拡充されたことから、少しでも早い試行的導入と試行後の検証を実施し、本市で効果があるかどうかを見極めるべきである。これからの本市を支えていく現役世代の転出を抑制する施策については、担当部局だけでなく市全体での取り組みを強く要望する。



市政に関する 一般質問

岩崎 雅秋
(公明党)

【問】現在、廃止となっているテレビ市政だよりについて、手話付きで分かりやすかつたとの声があり、再開の要望があるが、どのように考えるか。また、障害者手帳原本の提示により入場料が免除となる市有施設において、手帳原本の提示に代わるスマートフォンアプリ「ミライロID」での対応を望むが、現状はどうか。

【答】市政情報などを動画により配信する際には、字幕や手話の活用など、より分かりやすく、伝わりやすい情報発信手段の調査・研究を進めていく。ミライロIDについては、市有施設での導入に向け、他市事例の調査やミライロID運営事業者などとの協議を進めている。

烏野 隆生
(きしわだ未来)

スポーツ庁がポストコロナに向けて進めるスポーツによるグローバルコンテンツ創出事業の中に、武道ツーリズムがある。本市は昔から剣道、柔道、空手、居合道などの武道が盛んな地域であり、岸和田城の前にある心技館は、武道場として歴史のある施設である。武道ツーリズムは、武道の見学や観戦、実技体験、施設見学などスポーツと文化が融合した日本では体験できない希少性の高いツーリズムとして、海外からも高い関心が寄せられている。

スポーツツーリズムやスポーツ、とりわけ武道の振興、そして地域活性化を進めていくために、国際大会や全国大会などを誘致する活動をすべきである。

岸田 厚
(日本共産党)

本市の地域交通のあり方について

コロナ禍により、地域交通を取り巻く状況は大きく変化した。地域交通においては、バス交通を重視した公共交通だけの移動対応には限界があり、さまざまな交通手段をどう組み合わせ、市民の移動を確保するかが求められている。今後、全ての市民が安心して移動できるバリアフリーなまちづくりを考えるにあたり、次の4点を要望する。①コースバス運行コースの検討及び両回りに向けた検証をすること、②運転免許証返納者や高齢者の移動の確保に対する各種補助制度を創設すること、③フルデマンド型地域バスの実証実験を実施すること、④自転車でも移動がしやすい舗道のバリアフリー化を進めること。

京西 且哲
(次世代政策会議)

令和2年9月、国は学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を行い、今年6月には、運動部活動を学校から地域スポーツ団体などに移行する提言を公表した。これは、部活動を教育の一環と明記してきた学習指導要領を見直す学校教育の大転換となる。移行期間は5年度から7年度末であり、部活動を受け入れる地域スポーツ団体など民間の受け皿づくりが喫緊の課題である。教育関係部局は、地域移行に向け課題の整理と対策を早急に開始すべきである。また、地域移行は教職員の業務負担軽減が根本の目的であり、勤務時間外業務の約半分を占める授業準備や学校事務作業のあり方についてもしっかりと検討すべきである。

雪本 清浩
(次世代政策会議)

本市の財政は、長年にわたり厳しい状況が続いている。財政構造の安定性を示す指標の一つである経常収支比率を見ると、本市は人件費などの義務的経費の割合が高く、財政構造が硬直化していることがわかる。この構造を改善するには、人件費について適切な定員管理を行いながら、総額で抑制していく必要がある。一方で職員の働きがいを高めることや働き方改革への取り組みも必要である。

これらを両立させるためには、AIなどのICTの導入・活用を行い、労働生産性を高める必要があると考える。ICTの活用による事務の効率化を最優先課題とし、市が一丸となって取り組むことを要望する。

桑原 佳一
(公明党)

化学物質過敏症の普及啓発について

現在、私たちの生活環境には、数万種類もの化学物質が存在し、その中には危険性や有害性が不明なものが含まれている。化学物質過敏症は、空気中を漂う化学物質を吸入することで発症し、症状は原因となる化学物質や人により多様である。この症状に関しては、どのようなものなのか広く知られていない状況であり、患者の中には、診断に時間を要したり、周りの人から理解や協力を得られず苦しんだりしている人がいる。まずは、この病気を多くの方が正しく理解する必要があるため、ウェブサイトをなどの普及啓発の実施を強く要望する。そして苦しんでいる人が一日でも早く社会的に救済される日が来ることを望む。

今口 千代子
(日本共産党)

65歳以上の45%が難聴であるという調査結果がある。難聴になるとコミュニケーションが苦手となり、社会的に孤立し、認知症やうつ病を進行させる可能性がある。そのため、補聴器を早期に使用し、通常の生活が送れるようにすることが大切である。本市では、障害者手帳所持者しか補聴器購入の助成制度が利用できないことから、手帳を所持していない人への助成制度を創設し、高齢者を支援すべき。

府内複数の市では、小・中学校の女子トイレに生理用品を常設し、府教育委員会は非対面で利用できるよう府立学校に依頼した。本市も児童・生徒が気を遣わずに使用できるように、学校トイレに生理用品を常設すべき。

中井 良介
(日本共産党)

補聴器購入費の助成、学校トイレへの生理用品常設

学校統廃合の住民説明会では、小規模校の良い点として、「子どもが自立してきた」「安心して子どもを学校に任せられる」などの意見があり、他にも、「学校が遠くなると通学が心配」「学校がなくなる」と子育てできない地域とみなされる」などの反対意見があった。説明会で住民の理解を得られたのかを教育委員会に問うと、「この説明会をもつて十分とまでは考えていない」と答えた。それにもかかわらず、教育委員会は次の説明会を行わず、住民の代表者による少人数の校区懇談会で意見交換を行っている。学校統廃合は地域の大問題であり、この対応では、今後住民間に対立や分断を引き起こすことも危惧される。

松本 妙子
(公明党)

少人数の校区懇談会でなく、住民全体の声を

【問】①流産・死産を経験した母親や家族の悲しみに寄り添う周産期グリーフケアにおいて、同じ立場の人が共感し合えるピアサポート活動は重要である。活動につなげる体制づくりなどはどうか。②コロナ禍で面会制限のある市民病院では、家族や看護師の励ましが大事であると考えられているがどうか。

【答】①ピアサポートグループ情報のウェブサイトへの掲載、チラシ配架などによる情報提供に努めるとともに、当事者に寄り添うきめ細かな支援に向けた体制整備に努める。

②医療的な治療だけでなく、家族などからの精神的なサポートも治療に対する重要な要素と考えており、今後も柔軟に対応していく。

周産期グリーフケア、市民病院の対応について

賛否が分かれた議案

公…公明党
共…日本共産党
誠…誠和クラブ

次…次世代政策会議
維…大阪維新の会
未…きしわだ未来

無…無所属クラブ
○…賛成 ×…反対 (議長は表決しません)

件 名		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	結 果
		議 員 名	倉 田	堂 中	殿 本	反 本	宇 甫	宇 野	鳥 野	南	井 舎	友 永	西 田	桑 原	岩 崎	河 合	米 田	京 西	松 本	岡 林	雪 本	鳥 居	稲 田	中 井	岸 田	今 口	
		会 派 名	維 共	維 共	維 誠	誠 未	維 未	公 無	公 無	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	次 公	
議案第 40 号 令和 4 年度岸和田市一般会計補正予算 (第 3 号) 原案			○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	可 決
主旨 常盤小学校でのチビッコホームの増設、市立保育所11園への保育園業務支援システムの導入、（仮称）市立旭・太田認定こども園の開園及びゆめみヶ丘の消防施設整備にかかる地盤調査などの実施、小・中学校の給食食材高騰分の補助及び給食費無償化（10月から令和5年3月まで）などの費用です。			賛成討論、反対討論ともになし。																								
議案第 40 号 令和 4 年度岸和田市一般会計補正予算 (第 3 号) 修正案			×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	議 長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	否 決
主旨 議案第 40 号原案のうち、（仮称）市立旭・太田認定こども園の開園にかかる補正予算の削除を求めるものです。 原案に計上されている予算は、市立幼稚園・保育所を市立認定こども園（6園）と民間認定こども園に再編する計画に基づくものであり、市立幼稚園・保育所を残して欲しいという保護者の要望を取り入れていないとの理由によるものです。			【賛成討論】 ・幼保連携型の認定こども園における3歳からの幼稚園教育は、従来から行っている教育委員会で行うべきと考えるが未解決である。それにもかかわらず、幼保再編の計画における予算を教育委員会ではなく、市長部局が提出している。まずは幼児教育の大切さについて話し合うべきであり、市民の声を聞いて幼保再編計画を見直す必要があると考えるので、修正案に賛成する。																								

全会一致で可決した議案

第1回臨時会

議案番号	件 名 ・ 内 容
議案第 36 号	専決処分の承認を求めるについて (岸和田市市税条例の一部改正について)
議案第 37 号	専決処分の承認を求めるについて (令和4年度岸和田市一般会計補正予算(第1号)) 新型コロナウイルス感染症第7波への対応に向け、救急医療機関と連携し病院前の患者へ酸素投与等を行うことができるよう、府の補助金を活用し、入院患者待機ステーションを増設するための費用です。

第2回定例会

議案番号	件 名 ・ 内 容
議案第 38 号	専決処分の承認を求めるについて (令和4年度岸和田市一般会計補正予算(第2号)) 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、生活支援を行う観点から特別給付金を支給するための費用です。
議案第 39 号	岸和田市市税条例等の一部改正について
議案第 41 号	令和4年度岸和田市病院事業会計補正予算(第1号)
議案第 42 号	財産取得について(高規格救急自動車)
議案第 43 号	町の区域の変更及び町の新設について
議案第 44 号	公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて (一ノ谷康宏氏)
議案第 45 号	監査委員選任につき同意を求めるについて (平田徹氏)
市議案第 4 号	岸和田市議会委員会条例の一部改正について

9月定例会の日程(予定)

開催日	会議名
8月30日(火)	本会議
31日(水)	
9月1日(木)	
7日(水)	文教民生常任委員会
8日(木)	事業常任委員会
9日(金)	総務常任委員会
12日(月)	庁舎建設特別委員会
13日(火)	予算常任委員会
14日(水)	本会議
15日(木)	決算常任委員会
20日(火)	
21日(水)	
22日(木)	
26日(月)	本会議
28日(水)	

※開会時間は午前10時の予定です。
※傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。
○本会議を、テレビ岸和田、ラヂオきしわだで放送します。詳細は各放送局のウェブサイトをご確認ください。また、委員会は市議会ウェブサイトで生中継します。

政策討論会を開催します

第1分科会…子ども食堂への自治体の支援について
第2分科会…シティセールスについて
第3分科会…サテライトオフィスの誘致について

開催日	時 間
8月18日(木)	午前10時
9月29日(木)	午前10時
10月21日(金)	午前10時

※傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。
※3分科会同時開催です。